

「親切で頼りがいある ベストパートナーバンク」を目指して

皆さま方には、平素から私ども伊予銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。当行へのご理解を一層深めていただくために、「伊予銀行からのお知らせ2010」／「第108期 営業の中間ご報告」を作成いたしました。ご参考にしていただければ幸いに存じます。

当中間期のがわが国経済は、新興国の需要を背景として緩やかな回復が続きました。しかしながら、欧米経済の下振れ懸念や円高の進行等により、今後の見通しに警戒感を強める企業も多く、景気の先行きには不透明感が強まっております。

一方、愛媛県経済は、輸出関連産業を中心に一部で明るさが見えておりますものの、鉱工業生産指数が低下傾向にあるほか、有効求人倍率が低水準で推移し、住宅着工も貸家を中心に低迷が続くなど、全体としては足踏み状況が続いております。

金融界におきましては、自己資本比率規制の強化や、国際会計基準の導入に向けた動きが進んでおります。また、地域金融機関におきましても、厳しい経済情勢を背景として、収益力強化を目的に、県境を越えた広域再編の動きが見られるなど、当行を取り巻く経営環境は大きく変化しております。

当行は、こうした変化をチャンスと捉え、自らを革新し、変化に積極的に対応いたしますとともに、お客さまにご安心してお取引いた

だくため、さらなる財務体質の強化とコンプライアンスならびにリスク管理の徹底に尽力してまいりたいと存じます。

本年は、平成21年度から取り組んでおります3か年中期経営計画の中間年度に当たっております。私ども伊予銀行役職員一同は、この中期経営計画のサブタイトル「“Customer First” Plan for Future」で掲げておりますように、「お客さま第一」を基本として、お客さまのお役に立ち、そして、厚く信頼される銀行を目指し、業務に邁進してまいり所存でございます。

皆さま方におかれましては、今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成22年12月

頭取 森田 浩治





伊予銀行 本店

企業理念

存在意義

潤いと活力ある地域の明日を創る

伊予銀行は、ふるさとの総合金融機関として、人々の暮らしと事業に潤いと活力をつくりだし、地域とともに豊かな明日をひらきます。

最適のサービスで信頼に応える

伊予銀行は、先進的で質の高い、総合的な金融・情報サービスを、心をこめて提供し、人々の信頼と期待に応える銀行を目指します。

経営姿勢

行動規範

感謝の心でベストをつくす

私たちは、お客さまへの感謝の心を行動の原点に、たゆみない自己革新につとめ、喜びと生きがいをもって、たくましく行動します。

当行の概要

(平成22年9月30日現在)

創業	明治11年3月15日
資本金	209億円
店舗数	151か店
従業員数	3,042名(専任行員・専従行員を含む)

伊予銀行からのお知らせ2010

第108期 営業の中間ご報告

平成22年4月1日▶平成22年9月30日

CONTENTS

ごあいさつ	1
企業理念	2
当行の概要	2
業績等に関するご説明	
コア業務純益・経常利益・中間純利益の状況	3
自己資本比率(連結)の推移	4
有価証券の評価益の推移	4
【預金等】【預金等+預り資産】【貸出金】残高の推移	5
個人取引の推移	5
中小企業向け貸出金の推移	6
信用コスト	6
金融再生法開示債権の状況	6
地域のお客さまとの取引	7
中小企業等向け貸出金残高の状況	7
個人向け貸出金残高の状況	7
2009年度中期経営計画	8
CSR(企業の社会的責任)への取組み	
地域活性化に取り組んでおります	9
環境問題に真剣に取り組んでおります	11
「森のあるまちづくり」をすすめております	12
地域のために、地域とともに	13
中間連結貸借対照表	15
中間連結損益計算書、中間連結株主資本等変動計算書	16
中間単体貸借対照表	17
中間単体損益計算書、中間単体株主資本等変動計算書	18
サービスのご案内	19
新築移転・ATMサービスのご案内	20
いざごんフリーダイヤル・休日営業店舗・ローンプラザ・保険プラザ・関連会社のご案内	21
株式についてのご案内、株式の状況	22

■本誌に掲載してある計数は原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

